

Victims 1

～beginning～

たつみゆう



おねえちゃん

ぼく絶対
マクニに行って
病気を治すよ

そしたらあ


一緒に
鬼ごっこして
遊ぼうね

ーうん…

あたし仕事あるから
先に行くけど
終わったら
迎えに行くね

うん
約束だよ。





この日
一隻のアギ星から
マクニ星へ
向かう船が
爆破された。

マクニ星
スラム街

仕事おの？
どっちの？

Victims

~beginning~

たつみゆう

裏のお仕事だ
この間^{しいさん}法皇の側近が
乗った船が何者かに
爆破されたろ？

ああアギの
平和会議の
帰りの

そう
それと同じ頃
法皇の暗殺未遂が
あってな…

ああ？
そんなの
初耳だぞ
^{しいさん}法皇療養中の
はずだろ？

その^{しいさん}法皇が周りに
洩らすなってさ

何で？

さあーな分からん
んでだ
仕事の事なんだが
その犯人を
探して欲しいんだ

はあ？
なんでえ？
お前刑事でしょ？
お前らの仕事じゃん

表向き^{しいさん}法皇の事は
事件になって無いんだから
警察では
動けないでしょうが

そんなでもって
刑事をやってる
俺も動けないの
だからお前に
頼んでるの
一応探偵でしょ？

むっ



だから俺は
その爆破事件で
忙しいしな

犯人のデータ
送っておくから
んじゃーな



ちょっと待てレキ
1つ聞きたいんだが…

ん？



それにあの爆破には
やつらが絡んで
いるようなんだ

「死の商人
「リ・ポーン」か…

ああ



今日朝っぱらから来た
あのでかい荷物は
何だ？

ああ
あれ？

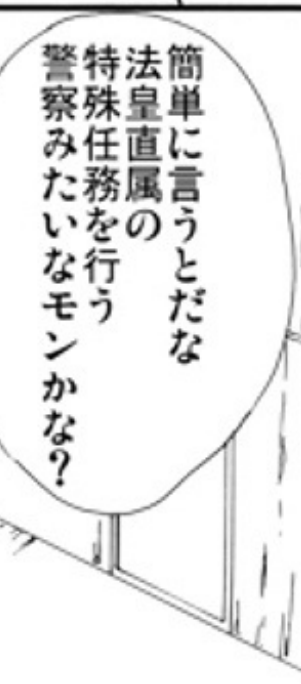
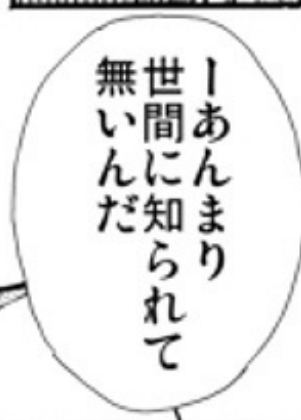
ブレゼントだが
少ないからさが
し手がいらない
とお手伝いと思
った













いいかあ
絶対しゃべんなよ

そんな時は
スクラップ
だかな



おーい
じいさん

生きてっか
おーい



ーうるさいっ

カキヤッ

今開けるわい
何か用か？



情報が欲しいん
だけど

ーでどんな

それがあ…

ひらひら





「お前の前の
マスター
主人はアギの
人間か？」

え？

いやほら
アギのニューズ
食い入るように
見てたからな
そうなのかなって



レキの事だから
どっかの
中古を持って
来たんだろうし

前にマスターが
いてもおかし
無いかなくて
思ってたさ

ここでは
そのマスターの事
あんまし言うなよ
アギ人は
差別されてっから

ホント


あんまし良い思いは
しねーしな…

かく言う俺も
アギ出身なんだけどな

悲しいかな
本当の名前隠して
ここでは
生きていかなきゃ
なんない


ホント…俺の
生き方じゃねーよな

マスター…



ーにしても
ここの連中は
ノンキだよったく

「リ・ポーン」が
アギに武器やら薬やら
密売してるおかげで



ここの経済は
安定してるって
言うのに

なーんも
知らねーんだもんな
ムカつくぜ

ーリ・ポーン…

ータスケテ

タスケテ…

ナンデモスルカラ

オネガイ

タスケテ





はい
先輩

おっ
サンキュ

なかなか
リ・ポーンである
証拠が見つかりませんね



まっ毎度の事
やけどな…

そうですね…



簡単に見つかったら
とうの昔に
捕まえとるわ

まあ…

お
なっあれ
お前のツレ
ちやうか?

めずらしい
猫耳娘
連れとんで

えっ?

まよりのちやうか?



ない、なんや
あいつら…

よくもまあ
あんな情報を
くれたな！

あんなんじや
分かんねえだろ

いってさあ
法皇がさあ



特殊任務の熱大とびや
話せやいのだた…



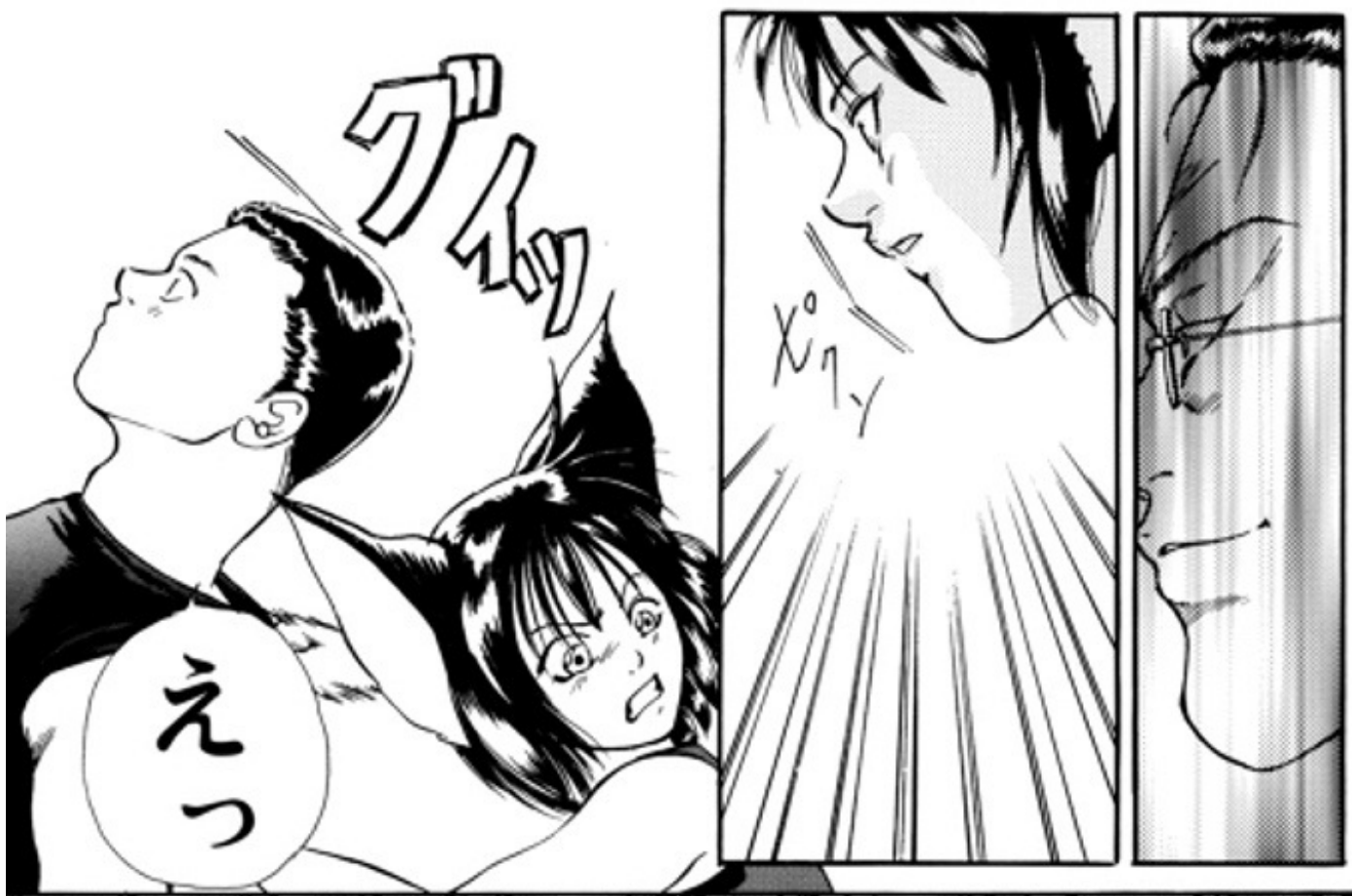
あれ…
はたから見たら
すごく変ちやうか？



なあ
もうやめろや



いんやあ
つたー！





このヤロー
待てエ!



マニ!

早く逃げろっ



マニ大丈夫か?
壊れてねーか?

マニ

うん

マニ
マニ



とりあえず
家に帰った方が
いいと思うので

帰ってください

—いいですか…



ぶんたいい
外に出なぞ
下メい

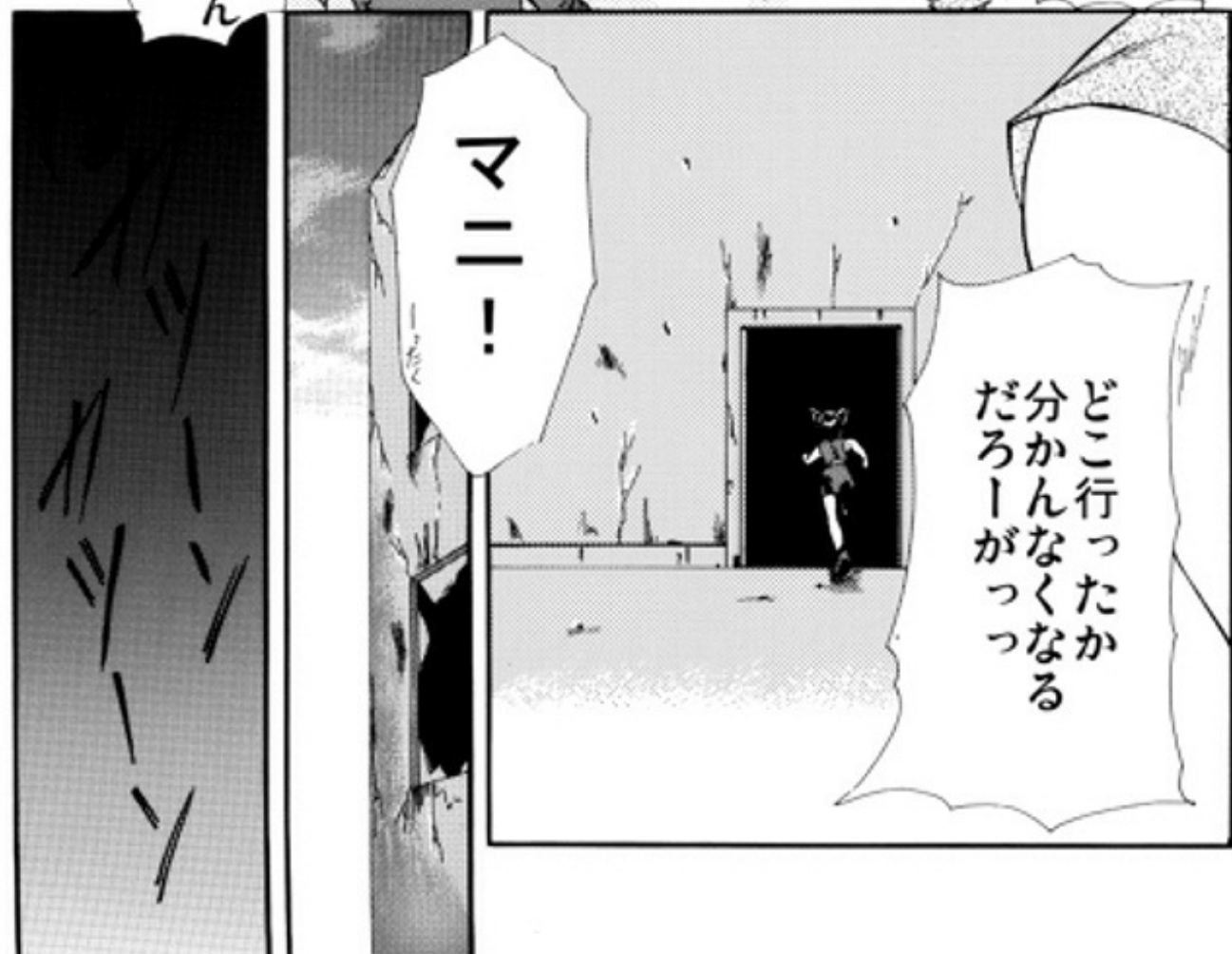
—と言われても
なあ…



肝心な事は
全然喋りやがねえし

俺って騙されて
んじゃねえの？













両腕両足は
作り物でも体は
生身だからな

こた
堪えるだろうか？

だが！

はあ
はあ



アリス!



まだまだ
甘いぞ



俺はそんな
戦い方を教えたか?

すぐに態勢を整え
そして次に構える
そう教えただろ?

そして
もう一つ

必ず狙った
獲物は殺せ…

そう

言わな
かったか？

組織に帰って来なかった
ところを見れば
法皇を殺り損ねたな
アリス

一弟の方が
よっぽど
役に立ったぞ

それは
どういう…

お前の弟…
クナンな見事獲物を
しとめてくれたよ…

「ま、本人は
知らない事だがね…

クナンの人工心臓に
爆弾を仕掛けても
ノーチエツクだからな

本当…
うまくいったよ

じゃ、じゃあ
あの船の爆破は…
…うそ…うそだ…

「今まで何の為に…」

そうお前の弟の
体に埋め込んだ
爆弾のせいだ

たくさんの人を
殺してきたの？

うそだああ!!

クナン…
ごめん!



お前は本当に
よく働いてくれたよ



―あたしお前のために…

なんで…なんで…
こんな事にい…



あの世で弟の
鬼ごっこの相手でも
してやれよ

サヨナラだ
アリス



ー話は
全部聞いたぜ

俺を
忘れんなって
マニいお前
足はえーよ

ーおいおい

ギシ!



けーつきよく
レキに騙されていた
わけやね

本人が傍にいたんじゃ
探しようがねえ
じゃねえかよ

ったくー
あいつー何が
人探しなんだよ

覚えとけよ!



お入りなさい

雨に濡れては
風邪を引きますよ



殺し屋さん

警備は厳しいはず
なのでですが
おかしいですね
―それより熱いお茶を
入れましょう

最近、自分でするよう
してるのですよ

全て周りの者が
やってしまうので
ボケてしまうでしょ？

それより
タオルですね

―法皇
あなたは
何も言わないの？

何も怖くないの？
あたし、あなたを…

―あなたの弟さん
助かりませんよ…



私にはすべて分かるのです

あなたが今日ここに
来る事もすべてね…



弟さんの為に
こんな事を
しているのでしょうか？



もう少し早く
分かっていたらば

助けてあげられたの
かもしれません…

じいさん
法皇が
船が!!

じいさん
法皇の言ったとおり
使者が乗った船が
爆破したって!





えっ



あっ待ちなさいっ

ーまさか
あの船が…



ーク・ナ・ン…

えっ



ちょうど良い所に
来ました
この娘の保護を
お願いしますね…

何も
術をかける事
無いんじゃない？
ーんでこの娘何？

私を殺しに来た
殺し屋さんです





うるさいって
言ったらろ？



なめるな！

ジャキッ




しやーねえ

先に
相手してやっか

ん



さあ来いっ



言っとくが俺は
元ゲリラ出身だかな
なめんなよ



スペースナあ！

よくもよくも
弟…クナンを…

クナンを
助けてくれるって
助けてくれるって
言ったから
あたしは信じてえ

ー今まで
言うとおりに
人を…

タスケテ
オネガイ

ナンデモスルカラ
オトウトロ
タスケテ

シンゾウガ
ワルイノ

ーあの時
助けてくれるって
言ったじゃない

ーワカッタ、タスケテヤル
オマエニハアシラ
オトウトニハシンゾウヤル

ホント？

ホントウニ？

ーアタシナンデモスル
ナンデモスル！

言ったじゃない！



さっ
リ・ポーンの事
喋ってもらおっか

レキ!てめえまた
騙しやがったな!

ーっるっさいなあ
後だ後

囧まで
させやがって

はいはい

俺の口から
リ・ポーンの事を
聞き出そうとしても無駄だ
ー俺達は所詮
捨て駒だからな

どの道いつかは
消される…なら
プロらしくするさ…

じゃあなあ…

おいっ!





ああ？
何？

なーんだかなあ



後味悪りーなって
思ってたさ...

結局
リ・ボーンの事は
分からずじまいだしな



まあな...

ーマニ...あの娘
どうして
義手義足だったんだ？



本当かよ...

足は...アギで地雷を
踏んだらしい
元々アギにいたし...
腕はあの仕事を
するの
自分から望んだ
そうだし...



それもこれも
弟の為だったんだ…

あの娘…これから
どうなるんだ？

一応、法皇暗殺未遂犯に
殺人犯だからな…

極刑は
免れないだろうと
思うがな…

一なあ



一そっか…

そうだな…



後は、法皇次第
かもな…
なんなら頼んで
みれば？

ああ？

ーど、どういう
事だろう…？

ーまいっか…

なんかやな
感じがする…



ーアリス

アリス

ー生きていく気
ありませんか？

まだ、あなたは
死ぬ時ではない…

あなたは沢山の
過ちを犯し
弟も失ってしまった



しかし、弟さんの死は
沢山の人を殺めてきた
あなたへのこれからの
カセです

それを胸に弟さんが
生きていけなかった分
アリス…いえマニ
生きていきなさい

— 1年後 —

カー

ピ





…It ends and it starts.

Victims 1～beginning～

<http://p.booklog.jp/book/59771>

著者：たつみゆう

(C) P-Cait Sith

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/negichin/profile>

HP

P-Cait Sith(<http://p-cs.chu.jp/>)



ぴー・けっとうしい(<http://www2u.biglobe.ne.jp/~tatumi-y/>)

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/59771>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/59771>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社ブックログ